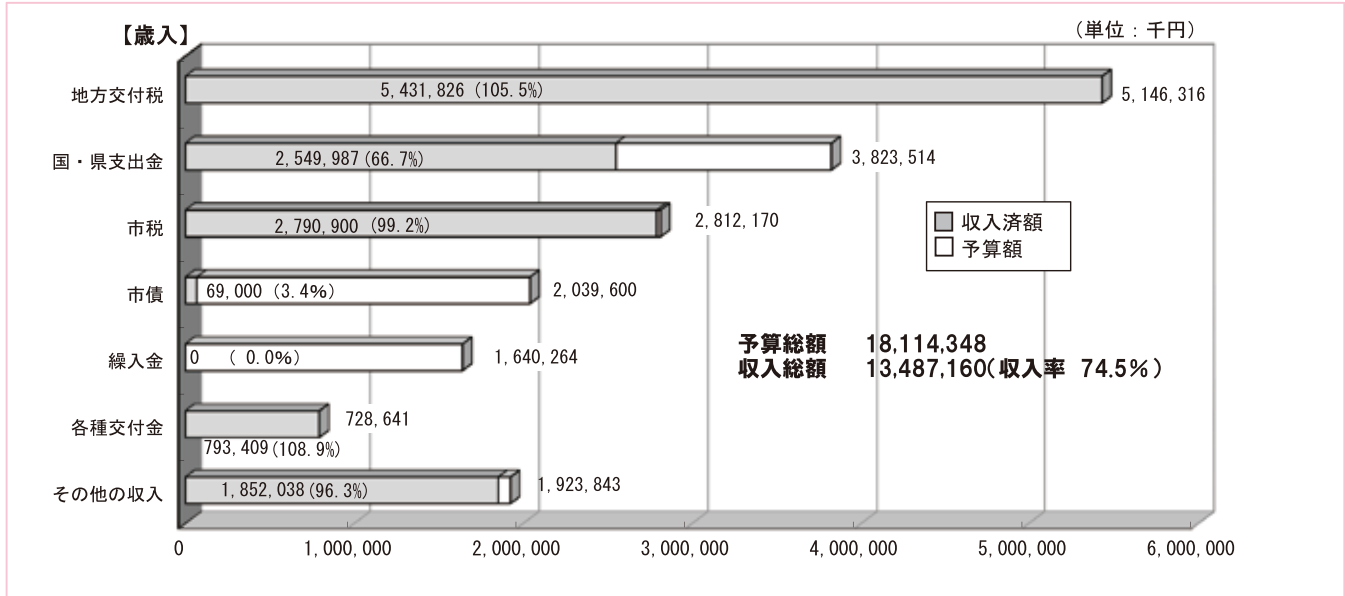


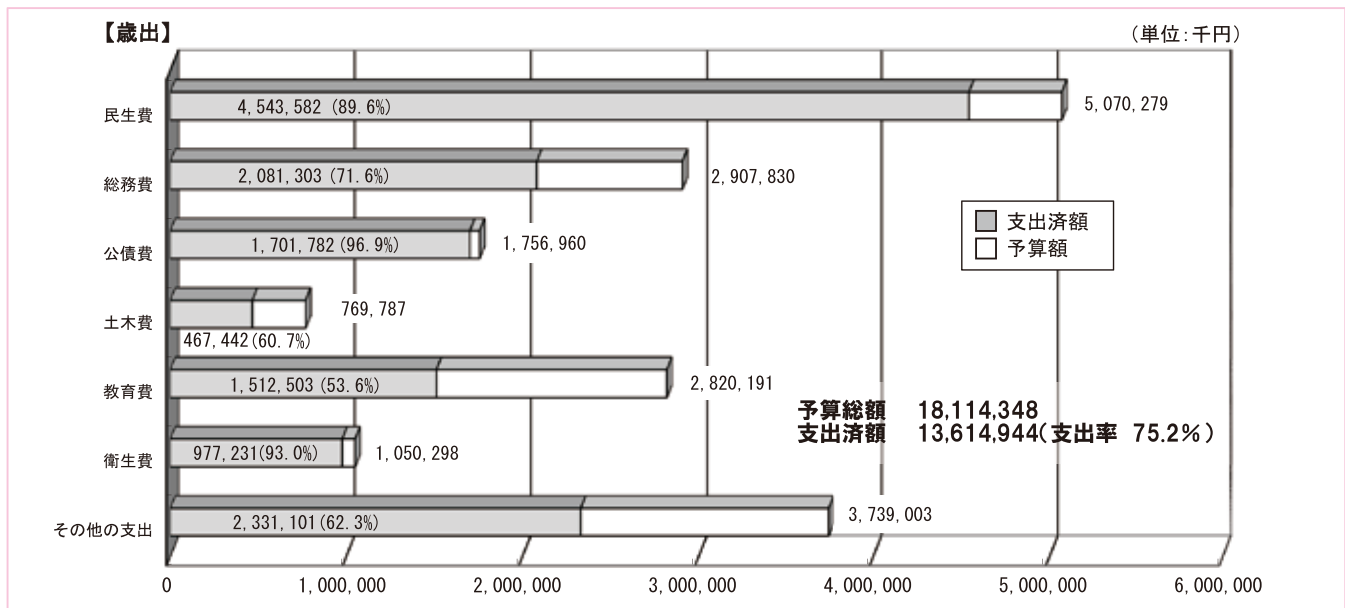
平成30年度 下半期の財政

うきは市財政状況の作成及び公表に関する条例の規定に基づき、平成30年10月1日から平成31年3月31日までの財政に関する状況を公表します。

1. 一般会計予算に対する収支状況(繰越明許費を含む)



3月末における一般会計全体の収入は、予算額に対して74.5%の約134億8千7百万円になっています。科目別にみまると、「国・県支出金」について、事業完了後の3月以降に交付される分があるため、収入率が低くなっています。市債と繰入金については、令和元年5月末までの出納整理期間中に収入をする予定です。



3月末における一般会計全体の支出は、予算額に対して75.2%の約136億1千5百万円になっています。市の各種基金への積立を含む「総務費」や、下水道事業などの特別会計に対する一般会計からの繰出金を含む「その他の支出」については、積立や繰出を4月以降に行う予定にしているため、支出率が低くなっています。

【用語解説】

◆繰越明許費＝前年度に執行できなかった予算を、議会の議決を経て、次年度へ繰り越して執行することができるもの

【歳入】

◆地方交付税＝地方の収入(財源)の偏りを是正するために、国が地方に交付するもの ◆市債＝市の借入金

◆繰入金＝市の基金を取り崩して財源とするもの及び他会計から繰り入れるもの

【歳出】

◆民生費＝社会保障や福祉に関する費用

◆総務費＝市の総括的なことに関する費用

◆公債費＝市の借入金の返済費用

◆土木費＝道路・河川・住宅などに関する費用

◆教育費＝学校教育・社会教育に関する費用

◆衛生費＝保健・衛生・環境に関する費用

2. 特別会計予算の収支状況

特別会計とは、ある特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区別して経理するもの(単位：千円・%)

会計区分	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	4,023,901	3,800,692	94.5	3,632,579	90.3
後期高齢者医療事業	483,652	443,177	91.6	459,160	94.9
住宅新築資金等貸付事業	25,191	24,600	97.7	757	3.0
自動車学校	139,843	109,232	78.1	100,565	71.9
簡易水道事業	23,099	8,135	35.2	11,593	50.2
下水道事業	1,442,993	440,502	30.5	1,147,139	79.5
農業集落排水事業	108,249	7,169	6.6	101,503	93.8
浄化槽整備事業	60,242	16,645	27.6	43,232	71.8
合計	6,307,170	4,850,152	76.9	5,496,528	87.1

3. 基金の状況

基金とは、自治体にとって貯金を「基金」といい、用途の目的ごとに区別して管理するもの(単位：千円)

区分		現在高
一般会計(合計18基金)		12,259,376
国民健康保険事業特別会計	国民健康保険給付費等支払基金	410
自動車学校特別会計	財政調整基金	278,956
簡易水道事業特別会計	財政調整基金	3,850
浄化槽整備事業特別会計	浄化槽整備基金	1,317
合計		12,543,909 (及び土地 3,139.07㎡)

3月末における各基金の状況です。
30年度については、国債等による運用益を、一般会計に約1億3,331万円、特別会計に約369万円積み立てています。

※基金の会計区分は、地方財政状況調査方式に準じて区分。

4. 地方債の現在高の状況

地方債とは、「市債」と同じ意味で、市の借入金(単位：千円)

会計区分		件数	現在高
一般会計		190	11,534,065
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	4	367
	簡易水道事業	7	92,541
	下水道事業	78	10,046,323
	農業集落排水事業	0	0
	浄化槽整備事業	15	148,564
合計		294	21,821,860

下期分の償還(返済)は、全会計合計で元金11億8,933万円、利子1億3,799万円です。

(会計別の内訳)
一般会計・・・
元金 9億2,213万円、
利子 3,977万円、
特別会計・・・
元金 2億6,720万円、
利子 9,822万円
となっています。



6次産業化研究開発・事業化支援センター

地域の果物や野菜等を加工し6次産業化を加速させるための施設。